

第2回理事会報告

日 時 令和4年1月25日（火）午後3時～同4時43分

オンライン（Zoom）開催

出席者 <会 長> 住友雅人

<副 会 長> 松村英雄、川口陽子

<総務理事> 小林隆太郎

<常任理事> 尾松素樹、津田勝則、石井信之、弘中祥司、
井上富雄、鄭 漢忠、天野敦雄、牧 憲司、
小方頼昌、水口俊介、秋山仁志、宮崎 隆

<理 事> 林 美加子、馬場一美、森山啓司、早川 徹、
浅海淳一、飯島毅彦、渋谷 鑛、尾崎哲則、
松野智宣、野本たかと、鱒見進一、前田初彦、
奈良陽一郎、佐久間克哉、吉成伸夫、今井 裕

<オブザーバー>

□日本学術会議歯学委員会委員長

市川哲雄

□国際歯科研究学会日本部会会長・日本口腔科学会理事長

中村誠司

□日本歯科総合研究機構主任研究員

恒石美登里

欠席者 <理 事> 佐藤真奈美、安井利一

※小林総務理事のみ、来館出席

[議長 小林総務理事]

1. 開 会

松村副会長から、開会の辞。

2. 挨拶

住友会長から、挨拶。令和4年度診療報酬改定に向けた医療技術評価提案書の評価結果の概要、新規技術導入からの様々な展開の重要性について説明がなされた。

3. 報 告

1) 会務報告

(1) 一般会務報告

小林総務理事から、次の資料に基づき報告。

一般会務報告（令和3年7月1日～令和4年1月24日）

第1回理事会報告（令和3年7月7日開催）

第1回常任理事会報告（令和3年12月21日開催）

(2) 専門・認定分科会への情報提供

小林総務理事から、令和3年7月1日～令和4年1月24日までの情報提供項目23件について資料に基づき報告。

(3) 役員派遣

令和3年7月1日以降、13件について確認がなされた。

2) 会計現況報告

津田常任理事から次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

学会会収支計算書（令和3年4月1日～令和3年11月30日）

第24回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書

（令和3年4月1日～令和3年11月30日）

3) 第24回日本歯科医学会学術大会関係報告

小林総務理事から、最終の参加登録者数、大会初日午前中に発生したアクセス障害に関わる委託業者からの最終報告、お詫びとしての事後対応の申し出（事後アンケート調査・分析の無償での実施）、記録集の発刊等について報告がなされた。

4) 評議員・予備評議員等の交代について

小林総務理事から、日本歯科麻酔学会の役員改選に伴い、同学会選出の評議員等が交代した旨、資料に基づき報告がなされた。

5) 日本歯科医学会専門分科会加入申請学会(令和3年8月1日公示)について

川口副会長から、本年8月1日付にて公示し、9月30日に締め切ったところ、日本口

腔リハビリテーション学会、日本口腔顔面痛学会、日本顎咬合学会、日本歯科審美学会、日本口腔診断学会、日本口腔腫瘍学会の 6 学会より加入申請があり、現在、専門・認定分科会資格審査委員会にて審査中である旨の報告がなされた。

6) 日本歯科医学会認定分科会登録申請学会(令和 3 年 8 月 1 日公示)について

川口副会長から、本年 8 月 1 日付にて公示し、8 月 31 日に締め切ったところ、日本顕微鏡歯科学会、日本臨床歯科学会、日本デジタル歯科学会の 3 学会より登録申請があったとの報告がなされた。

7) The Japanese Dental Science Review (JDSR) の編集と出版について

松村副会長から、JDSR は 91 の歯科関係の雑誌の中で 11 のインパクトファクターの値を取得、JDSR の論文掲載数については編集体制の見直しにより増える予定である、従来は invited review article を主に掲載する雑誌であるが、より投稿論文にあたる総説を受け付けていくという趣旨がある、医療技術評価提案書に記載する論文は総説以外でも受け付けていく、日歯、分科会、日本歯科医師会の関連団体が実施した研究あるいはまとめられた総説を投稿される場合には、所属団体に研究を執り行った代表者からの推薦文を付記していただきたい等の説明がなされた。

8) 研究倫理審査申請書 審査結果について

川口副会長から、今執行部の始まった令和 3 年 7 月 1 日以降、1 件の研究倫理審査「在宅療養支援歯科診療所における在宅歯科医療に関する調査」について、研究倫理審査委員会にて審議した結果、承認された旨の報告がなされた。

9) 利益相反申告書 審査結果について

松村副会長から、今執行部の始まった令和 3 年 7 月 1 日以降、1 件の利益相反審査「在宅療養支援歯科診療所における在宅歯科医療に関する調査」について、利益相反委員会にて審議した結果、承認された旨の報告がなされた。

10) 「口腔健康管理」及び「オーラルフレイル」の定義定着に関する協議会の設置について

小林総務理事から、令和 3 年 3 月 25 日付および 10 月 28 日付の堀日歯会長からの依頼を受け、標記協議会を設置する旨の報告がなされた。

11) 令和4年度診療報酬改定に向けた医療技術の評価(案)について

小林総務理事から、次のとおり報告。令和4年度診療報酬改定に向けて日本歯科医学会分科会より提出された84件の医療技術評価提案書に対する第511回中央社会保険医療協議会総会(令和4年1月19日開催)の評価結果について報告。「診療報酬改定において対応する優先度が高い技術」は17件、「今回改定では対応を行わない技術」は56件、「学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの」は11件であった。提案書を提出する段階では薬事承認がとれていなくてもよいが、8月末の中医協での審議開始前までには承認取得がなされていることが前提にある。今回それができていない提案書があった。医科・歯科含めて財源がないとの情報が入っていたが、今後、国民の健康に寄与していくために前向きな検討をしていきたい。4つの新病名のうち、口腔機能発達不全症、口腔機能低下症に続いて、口腔バイオフィルム感染症が何らかの形で保険収載される予定である。

12) その他

- ▶ 日本学術会議 歯学委員会報告
市川委員長から標記について口頭報告。
- ▶ 国際歯科研究学会日本部会(JADR)および日本口腔科学会報告
中村 JADR 会長・日本口腔科学会理事長より標記について口頭報告。

4. 議 題

1) 令和4年度専門分科会助成金等の配分について

松村副会長から、配分基準により令和3年9月末の会員数をもとに助成金の額を算出しており、前年度に比べ、歯科基礎医学会の会員数減により、助成金が減少している旨の説明がなされ、全会これを承認した。

2) 顕彰審議会答申の取り扱いについて

津田常任理事から、顕彰審議会からの答申書に基づき諮られ、協議の結果、答申内容を尊重し、5名への授賞について、理事会として全会これを承認した。また、令和4年2月18日開催の第107回評議員会にて、授賞式を執り行うことで全会これを承認した。

なお、授賞者は以下の通りである。

<研究部門>

田上順次（東京医科歯科大学名誉教授／日本歯科保存学会推薦）

米山武義（静岡県歯科医師会会員／日本老年歯科医学会推薦）

<教育部門>

荒木孝二（東京医科歯科大学名誉教授／日本歯科医学教育学会推薦）

矢島安朝（東京歯科大学名誉教授／東京歯科大学推薦）

<地域歯科医療部門>

中村譲治（福岡県歯科医師会会員／日本口腔衛生学会推薦）

3) 専門・認定分科会資格審査委員会報告の取り扱い（認定分科会登録申請学会）について

川口副会長から、専門・認定分科会資格審査委員会の「認定分科会登録申請学会の資格審査について（報告）」に基づき、認定分科会登録申請学会の登録資格に係わる委員会の審議内容の説明が行われた。今回の審査は、認定分科会への登録申請があった3学会（日本顕微鏡歯科学会、日本臨床歯科学会、日本デジタル歯科学会）について、承認基準に基づいて行われている。委員会による審査結果として、加入申請が行われた3学会のうち「日本デジタル歯科学会」を加入「可」と判定したとの報告がなされた。

投票の結果、「日本デジタル歯科学会」の認定分科会への登録について、第107回評議員会へ上程することが、全会一致で承認された。

4) 日本歯科医学会専門分科会資格更新取扱い内規の制定について

川口副会長から、これまでも5年おきに資格更新は行われてきたが、明文化されたものがなかったので、この度内規を制定したいとの説明がなされた。協議の結果、全会これを承認した。

5) 日本歯科医学会認定分科会資格更新取扱い内規の制定について

川口副会長から、専門分科会資格更新と同様に明文化されたものがなかったので、この度内規を制定したいとの説明がなされた。協議の結果、全会これを承認した。

6) 第107回評議員会の開催（議案）について

小林総務理事から、次のとおり第107回評議員会の日程（第1号議案～第6号議案）について諮られた。

□第1号議案 認定分科会への登録に関する件

小林総務理事から、標記について資料に基づき諮られ、第107回評議員会の第1号議案として上程することが承認された。

□第2号議案 日本歯科医学会規程の一部改正

小林総務理事から、標記について資料に基づき諮られ、第107回評議員会の第2号議案として上程することが承認された。

□第3号議案 令和4年度日本歯科医学会事業計画

小林総務理事から、令和3年度日本歯科医学会事業計画から次の4か所の改訂を行う提案について諮られ、第107回評議員会の第3号議案として上程することが承認された。

- ・Ⅰ. 重点計画(5) 「日本歯科専門医機構との連携」を削除
- ・Ⅱ. 一般計画(4) 「対内外に向けたフォーラム等の実施」に改訂
- ・Ⅱ. 一般計画(6) 「The Japanese Dental Science Reviewの発行」に改訂
- ・Ⅲ. その他(4) 「第25回日本歯科医学会学術大会の検討」に改訂

□第4号議案 日本歯科医学会専門分科会承認基準の一部改正

川口副会長から、専門・認定分科会資格審査委員会は臨時委員会であったので会長の諮問を受けて答申する形であったが、今期から常置委員会となったため承認基準の改正が必要となった。内容として公示期間は同じであるが、受付期間を延長している。また、内規を別に定める旨も記載している旨説明後、標記について諮られ、第107回評議員会の第4号議案として上程することが承認された。

□第5号議案 日本歯科医学会認定分科会承認基準の一部改正

川口副会長から、第4号議案と同様に、臨時委員会から常置委員会から変わったことによる文言の修正、内規を別に定める旨を記載している旨説明後、標記について諮られ、第107回評議員会の第5号議案として上程することが承認された。

□第6号議案 日本歯科医学会会長賞授賞基準の一部改正

小林総務理事から、次の2つの改正点について説明後、標記について諮られ、第107回評議員会の第6号議案として上程することが承認された。

- ・推薦の締め切りを7月末日から9月末日に変更する。

- ・「日本歯科医学会への貢献」に関する文言を明文化する。

7) 令和4年度学会会計収支予算について

津田常任理事から、標記予算について諮られ、承認された。

8) 第107回評議員会の運営について

小林総務理事から第107回評議員会タイムスケジュール、採決はZOOMの投票機能を用いて行うことについて諮られ、全会これを承認した。

9) 令和4年度諸会議開催予定について

小林総務理事から、資料に基づき標記会議開催予定について諮られ、承認された。

5. 閉 会

川口副会長から、閉会の辞。